



神石高原町は標高 500～700m の高原に位置し、昼夜の寒暖差により良質な米や野菜が栽培されています。加えて「赤と黒のプロジェクト」を農業施策の基本としてトマト、ぶどう、神石牛の生産拡大を図っており、神石牛とその堆肥による耕畜連携や有機農業への活用に取り組んでいます。

こうした中、平成 22 年に「神石高原有機農業推進協議会」を設立し、土壌診断、有機農法の研究を重ね、これまでに自然に優しい農産物を栽培し、多くの消費者に提供してきました。

国内外では SDGs の取り組みや環境保全への関心が高まっており、持続可能な農業振興と環境負荷の軽減を目指す取り組みが求められています。

みどりの食料システム戦略を契機に、有機農業者の増加や後継者育成をすすめる、環境に配慮した農産物の生産拡大に取り組めます。併せて学校給食へ有機農産物を提供し、神石高原町の豊かな自然、食と農を、次代を担う子どもたちに引き継ぎます。

これまで守られてきた美しい自然環境を次の世代に繋げていくため、今後も環境に配慮した有機農業を推進していくことを決意し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。



道の駅さんわ 182 ステーション【有機農産物コーナー】

令和 5 年 5 月 30 日

神石高原町長

入江 嘉則